

川崎市国際交流センター

外国人市民による 日本語スピーチコンテスト 20年 「これまで」と「これから」

2015年2月14日(土)、第20回を記念して過去最大規模の「外国人市民による日本語スピーチコンテスト」が行われました。参加条件は来日5年未満の外国人市民で、今回は11か国出身の20名がスピーチを披露しました。

第1回から審査に関わって2005年から審査委員長を務められている関口明子さんのインタビューと、第20回の最優秀賞に輝いたポスト・マグダレーナさん(ドイツ出身)のインタビューをお伝えします。



審査委員長
関口明子さん

公益社団法人
国際日本語普及協会 (AJALT) 理事長

長年外国人の日本語教育を現場で支援され、審査委員長を務められています。

Q. この20年で変化はありますか?

A. 最初のころの参加者は、大学や専門学校、日本語学校の学生が主流でしたが、最近は主婦などボランティア教室で勉強している方の参加が増え、コミュニケーション力や構文力でも学生たちと同じ土俵で戦えるようになってきました。その背景には、役所の手続きなど生活に必要な日本語力を獲得する必然性が、日本語を学ぶ強い動機になっていることがあります。

また、スピーチの姿勢も変化していますね。以前はオーバー・アクションや派手な応援が目立ちましたが、最近はしっとりと自然体で、「本当にこれを伝えたい」という気持ちの強さが、人の心をつつスピーチになっています。



2005年 第11回スピーチコンテスト最優秀賞受賞(当時専修大学大学院)

チョンムルノフ・チムールさん(在日キルギス共和国大使館 三等書記官)から一言いただきました!

スピーチコンテストに出場したきっかけは? 母国でも弁論大会に出場した経験があり、日本語力と人前で話すスキルを磨くいい機会だと思いました。また、日本に関する発見や気づきを日本人に伝えたいと思って出場しました。出場した感想は? 最優秀賞をいただけてうれしかったし、川崎

市の皆さんと交流できるようになったことは今の仕事にも生きています。原稿通りに読むのは難しかったです。今後の出場者・支援者・来館者にひとこと 出場する準備・プロセスの中で、日本語の文法(表現など)やスピーチ力が身につきますし、国際交流のきっかけになるので、外国人

の皆さんにはこの大会にチャレンジすることを勧めます。日本人の皆さんには、来日5年未満の外国人市民の、日本に対する新鮮な印象、日本人が当たり前だと思っていることに関する気づきや新しい視点に、ぜひ耳を傾けてほしいと思います。

(取材・文:編集ボランティア 森 千里)

Q. 印象に残っているスピーチはありますか?

A. 豊かな日本になぜホームレスがいるのかと、疑問を持った人がいました。その人は、なんと自分も路上生活に飛び込み、ホームレスの人たちと親しくなりました。すると、屋外で貧しく厳しい毎を送る人たちの中には、会社などの組織や家族から自由になりたい、誰からも束縛されたくない、と自ら選んでホームレスになり、その生活に納得している人がいることに気づいたそうです。昨年急逝された協会の寺尾宇一前会長は、このコンテストに初回から大変力を入れていた方ですが、その会長と共に、私たちも日本のホームレスの様相がわかったと感心したことが印象深く思い出されます。

Q. 今後どのようなことを期待されますか?

A. 積み上げていくことは大きな力になります。大勢の支援者の方々に支えられて、若い人たちがこのスピーチコンテストを通して日本を深く理解してくださると嬉しいです。

(取材・文:編集ボランティア 森 千里)

司会のダンローブ
マラルゴーさん
(モンゴル出身)
しっかりと大役を
務めていただきました



第20回外国人市民による
日本語スピーチコンテスト
最優秀賞に輝いた
ポスト・マグダレーナさん
ドイツ出身

Q. 日本に興味を持ったきっかけは?

A. 11才のときにテレビで日本のアニメを見たとき、日本語は発音が美しく心がこもっているなあという強い印象を受けたことですね。それからはもっと日本のことを知りたい、日本語を勉強したいと思い、日本のアニメをたくさん見ました。

Q. 日本に来ることになったいきさつは?

A. 17才のときに、ドイツ・日本少年スポーツ交流団のメンバーとして初めて来日した際「将来は必ず日本に来よう」と心に決めました。ドイツの大学では現代日本学を専攻し、日本の大学に1年留学しました。そのときに東日本大震災を経験しましたが、日本にまた来たいという気持ちは揺るぎませんでした。2012年に再度来日し、インターンとして三菱ふそうトラック・バス株式会社で働き、卒業するタイミングで入社試験を受け、2013年に就職が決まりました。今は人事企画の仕事をしていて大変やりがいがあります。

Q. これからの目標は?

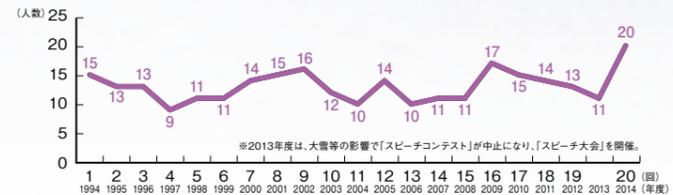
A. 日本で生活すること、人事関係の仕事をするということ、という希望が二つともかなえられて、今とても充実しています。将来は仕事でもプライベートでも変化はあるでしょうが、当分はこの恵まれた環境の中で精いっぱい頑張ることが目標です。

明るい人柄のマグダレーナさんから素晴らしい日本語を通して、溢れる充実感が伝わってきました。ますますのご活躍を祈ります!
(取材・文:編集ボランティア 小島俊彦)
(インタビューは2名とも2015年2月に行いました。)

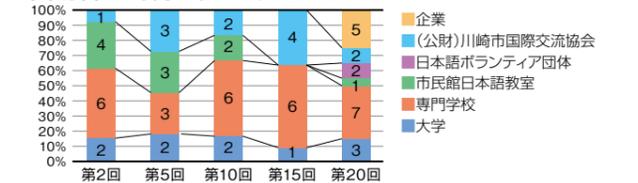
第20回外国人市民による日本語スピーチコンテストの出場者

氏名	スピーチタイトル	出身国
ポスト マグダレーナ	故郷	ドイツ
王 章莉	自分の殻	台湾
エルサルヒ ムハンマド	一緒に笑いましょう	エジプト
エムティ シャヒドウル ラハマン	銭湯について	バングラデシュ
テブシントーフ ハンダルマー	お・も・て・な・し	モンゴル
アスリ プンガ チンタミ	日本の理解できない部分	インドネシア
李 子麗媛	私の夢	中国
レミン ハン	僕に後輩ができました	ベトナム
文 騰	私の夢	中国
李 赫熙	韓国人から見た日本人について	韓国
グエン フォン フェン	肌で感じる日本人の思いやり	ベトナム
モネステレ ジョイ	幸せな国際結婚をするために	アメリカ
グエン ティ クエン	障害者に優しい日本	ベトナム
孫 磊	競争心	中国
盧 映林	あなたの夢は何ですか?	韓国
林 静	日本と中国の違い	中国
ラタナヤカ ムディヤンセラゲ イシヤン カリンガ アベシンハ	生活が変わりました	スリランカ
グエンレ チュンヒュー	試練を乗り越えること	ベトナム
ベン ノートン	日本映画の生みの親:黒沢明	アメリカ
ヴィ ヴァントゥアン	私の夢	ベトナム

20年間での人数の変化



出場者の所属の移り変わり



出場者出身国(上位3位)

順位	第2回	第5回	第10回	第15回	第20回
1位	中国	韓国	中国	韓国	ベトナム
2位	フィリピン	アメリカ	韓国	中国・フランス	中国
3位			タイ		韓国・アメリカ
4位以下(50音順)	韓国 台湾 中国 残留孤児 ポーランド	アイルランド オーストラリア オーストラリア バングラデシュ フィリピン ミャンマー	オーストラリア 台湾 タイ ベトナム	アメリカ カナダ ネパール	インドネシア エジプト スリランカ 台湾 タイ バングラデシュ モンゴル

第21回 外国人市民による日本語スピーチコンテスト

◎日時:2016年2月20日(土) 13:00~
◎会場:川崎市国際交流センター・ホール(コンテスト)

申込不要
入場無料

来日5年未満の外国人市民が、日頃の日本語学習の成果を披露。コンテスト終了後は、出場者を囲んでの交流会(軽食付き)にご参加ください。休憩の間には、外国人アーティストによる演奏(ミニコンサート)も予定しています。(交流会は要事前申込、参加費510円)

